



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年6月12日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

風見しんごさん 事故防止への思い

12日(日)＝1、3面



俳優やタレントとして活躍している風見しんごさん＝写真＝は2007年1月、最愛の娘で小学5年だったえみるさん（当時10歳）を交通事故で失いました。青信号で横断歩道を渡っていたのにトラッ

クにひかれたのです。「僕と同じような経験をしてほしくない。子どもの犠牲者をなくしたい」。その思いで風見さんは交通事故防止を訴え続けています。約2年間、対面での講演を行ってきませんで

したが、6月2日に東京都内の小学校で保護者らを前に「あの日」、自分たちに起きた出来事を話しました。「悲しみを乗り越えることはできません」。そう語る風見さんの心境に迫ります。

特集 **ワイド**

絵本売り場で戦争を考える

13日(月)＝夕刊特集ワイド

夕飯時にテレビをつけると、爆撃されるウクライナの人々が映し出されます。そんな家庭の風景が日常となった今、幼い子に戦争をどう伝えればよいかを考えました。定点ルポとして、記

者が絵本専門店「クレヨンハウス」＝写真＝に3日間密着。書棚には「なぜ戦争はよくなるのか」「父さんはどうしてヒトラーに投票したの？」といったタイトルの本が並んでいます。その前で、親の悩

む気持ちや子供の反応について詳しく聞きました。



「出版業界を祭り」のように盛り上げた。今年1月、「塞王（さいおう）の楯（たて）」で直木賞を受賞した作家の今村翔吾さんが、全国47都道府県を約

論プラス 書店の今とこれから

16日(木)＝オピニオン面

120日かけてワゴン車で巡るツアーで、読者や子どもたちと交流を深めています。その背景には、出版不況、活字離れといわれる中で、町の

書店が年々減っている現状があります。本を売るだけでは新しい新業態の店舗も増えています。書店の「今」と「これから」を探ります。

論点

防衛費GDP2% 日本のとるべき道は

15日(水)＝オピニオン面

日本を取り巻く安全保障の環境が厳しさを増しています。自民党は防衛費について、現行の国内総生産（GDP）比1%程度から2%以上に5年以

内に増額するよう政府に提言しました。米国の要求などをはねのけて北大西洋条約機構（NATO）が基準として定めたGDP比2%を満たしてこな

かったドイツは、ロシアのウクライナ侵攻を受けて、安全保障政策を転換させ、GDP比2%以上とすることを決めました。日本が取るべき道を考えます。

新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年

竹橋の窓辺から
編集後記
毎日新聞社は美術展などの文化事業も多く主催しています。先月まで東京国立近代美術館で開催されていた「没後50年 楠木清方展」もその一つで、魅力が詰まった公式図録（定価2800円）は会場でも大好評でした。この図録は公式販売サイト「まいにち書房」内や毎日新聞販売店（一部地域を除く）で販売されています。過去の展覧会の図録やグッズも充実していますので、QRからぜひご覧ください。（渡部竜之介）

